

令和6年度
協働のまちづくり
チャレンジ事業
成果発表会
(資料)



〈団体連合チーム〉

材木町会連合会
馬場町会連合会
WLB北陸

2025
03.01
(sat)

金沢歌劇座

材木地区
町会連合会

49町会 3,000世帯

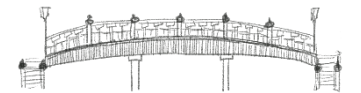
馬場地区
町会連合会

29町会 1,100世帯

NPO法人
ワークライフ
バランス北陸
会員30名

連 携

- ①まずは町会に声掛けをして現状を共有。
- ②参加を促し興味を持ってもらう！
- ③町会メンバーの平均年齢を下げる！
- ④コミュニティの修復・再生を考える機会提供。



材木・馬場・NPO
連合チーム

<概要>

- 2回のセミナー、七つ橋わたりで、ボランティアを募ります。（対象：30代後半～40代）
- 現在の町会、町連の役員が交代しても、この課題は残っていくようにする。
- SDGsの目標11番「住み続けられるまちづくりを」に近づけるように努力します。

<背景と狙い>

- 薄れゆく町会や町のコミュニティ。あいさつが5年前と比べ、少なくなりました。
- 数年にわたるコロナによって、古き良き町のコミュニティは、ズタズタに壊され、分断してしまいました。
- また、高齢化の影響は、町会の役員にも出ていて、60～70代が中心です。
- 町会や町連でやる行事・祭事を準備、運営しているのは、大半が高齢者です。
- 町会には、歴史伝統・風習行事・祭り・言い伝えなど、残すべきコンテンツがあります。
- コミュニケーションがとれず、そのことで「防犯防災・各種集金・町会の委員決め」などで弊害あり。

町のコミュニティの修復と、若返りが必要。

事業名) 住み続けられるまちのためのミーティング「SDGsとまちづくり」

参加者数) 15名 材木公民館

良かった点) カードゲームは白熱していた。ゲーム後の振り返りトークで活発な意見交換ができた。

課題・反省点) 多くの町民に出席して欲しい。チラシ配布だけじゃない別の手段を考案する必要がある。

市との協働について) 中田さん・小幡さんのアドバイス



夏休みの宿題は
SDGsでバッチリ!

話し、せんけ! SDGsのゲームを使って、 まちができること、できないこと。

～「住み続けられるまち」のための住民同志のコミュニケーション～

7月21日(日) 13:30 材木公民館

材木、馬場地区で
できるSDGsを、
子どもと一緒に考える、
そんなゲームを
しましょう。

夏休みの宿題にも
なるかも!



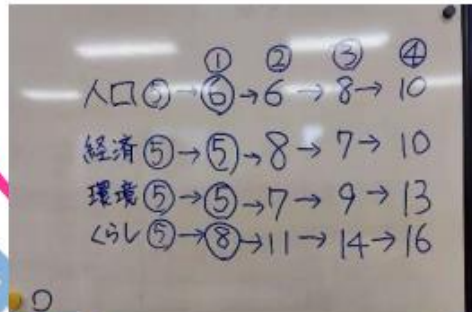
<住み続けられるまちのためのミーティング>

日時/7月21日(日) 13:30~16:30
場所/材木公民館
定員/約25名~30名
参加費/500円(飲み物+プレゼント)

主催/材木地区連合町会
馬場地区連合町会
NPO法人 ワークライフバランス北陸
監修/金沢市市民局 市民協働推進課

<最終報告>

- 事業名/SDGsとまちづくり
- 参加者/15名
- 状況/少人数ながらカードゲームは白熱していた。



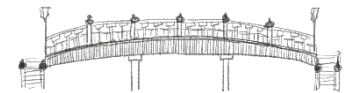
事業名) 七つ橋わたり・四つ橋わたり

参加者数) 四つ橋わたりは雨のため途中で中止。本番の七つ橋わたりは荒天のため最初から中止。

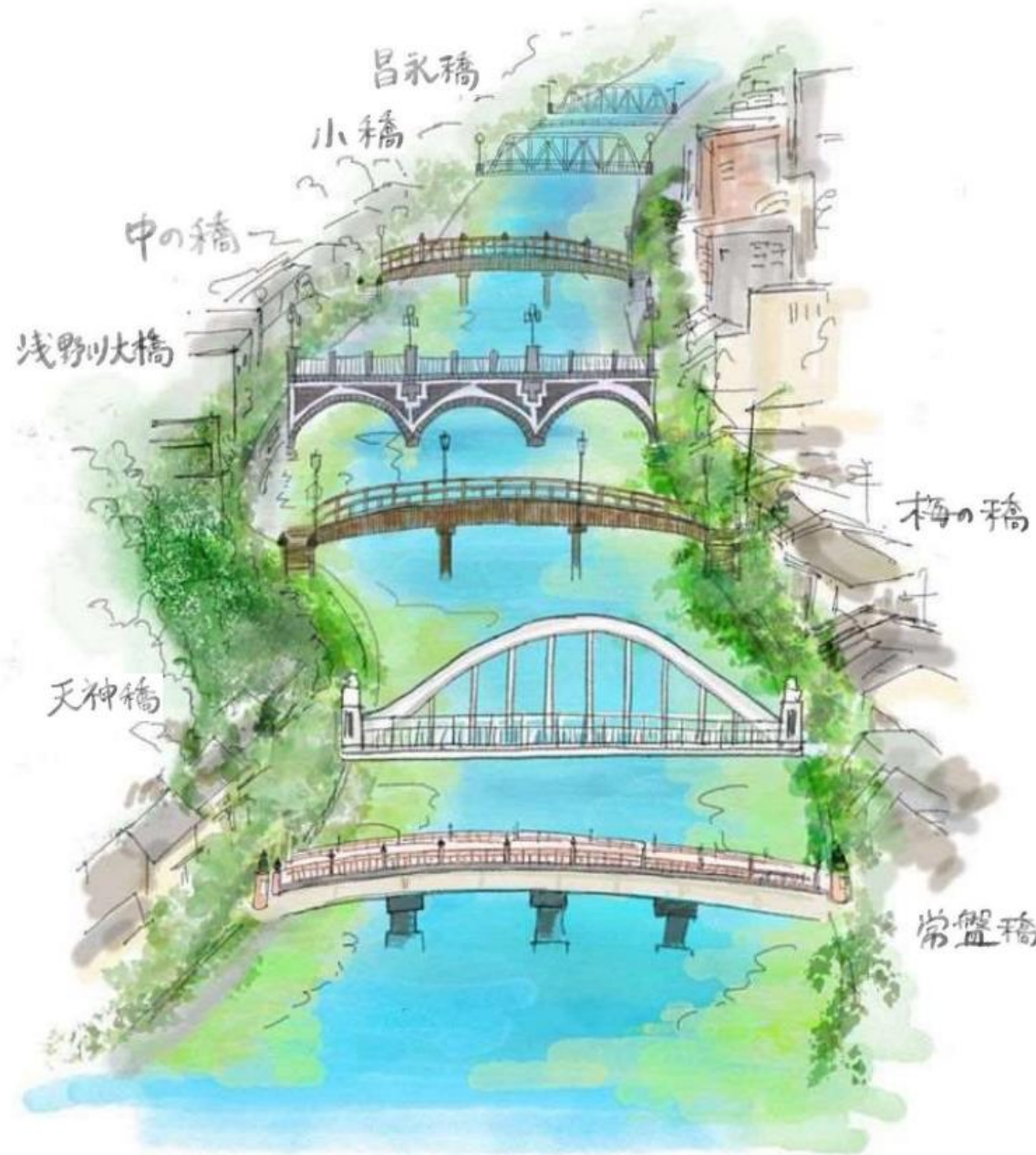
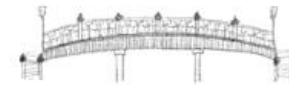
良かった点) 橋場緑地まで行って中止を決定する。四つ橋わたりのニーズはあることがわかった。

課題・反省点) 代替イベントを何か用意する。

市との協働について) 中田さん・小幡さんのアドバイス



七つ橋 渡り



- ◇日時/2024年9月22日 (日)
- ◇時間/午前0時出発 雨天決行
- ◇集合/21日 (土) 23:50 常盤橋
- ◇参加/無料
- ◇運営/馬場・材木町連



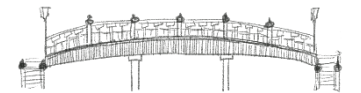
① 常盤橋



② 天神橋



③ 梅の橋



材木・馬場・NPO
連合チーム

浅野川界限に古くから伝わる風習です。「七つの橋」を無言で渡ります。お彼岸の中日にあたる、春分の日と秋分の日午前0時に常盤橋を出発します。七つ目の昌永橋まで浅野川に架かる七つの橋を約一時間かけて、お参りをしながら渡り歩きます。しもの病に効くと言われています。

最終報告

- 事業名 / 四つ橋わたり
 - 参加者 / 15名
 - 状況 / 雨のため途中で中止
- ※七つ橋わたりも天候不順により中止



④ 浅野川大橋



⑤ 中の橋



⑥ 小橋



⑦ 昌永橋

事業名) [ひなんじょ たいけん] ゲーム

参加者数) 28名 馬場公民館

良かった点) 活気あって参加者は積極的に取り組んでいた。防災について意識づけができた。また、被災された輪島市在住の木下さんの講話は、机上では聞くことができない、鬼気迫る内容だった。

課題・反省点) 今回は町連の役員を中心に集客した。次回は町民を集めてやりたい。

市との協働について) 中田さん・小幡さんのアドバイス

[ひなんじょ たいけん] ゲーム

COMING
SOON

そのときに避難所で起こるさまざまな出来事を
「避難者の目線」で疑似体験します。

馬場町連
材木町連
連携企画



[ひなんじょ たいけん] ゲームでは、避難所に見立てた平面図に、避難者の年齢や健康状態などが書かれたカードを配置していき、さまざまな出来事や課題に対応していきます。



材木・馬場・NPO
連合チーム



【ひなんじょ たいけん】ゲーム

◆日程：12月10日(火)

◆時間：19時から

◆場所：馬場公民館

※特別ゲスト 輪島市在住

きょうこちゃん 講話

主催団体：馬場町連・材木町連・NPO法人ワークライフバランス北陸

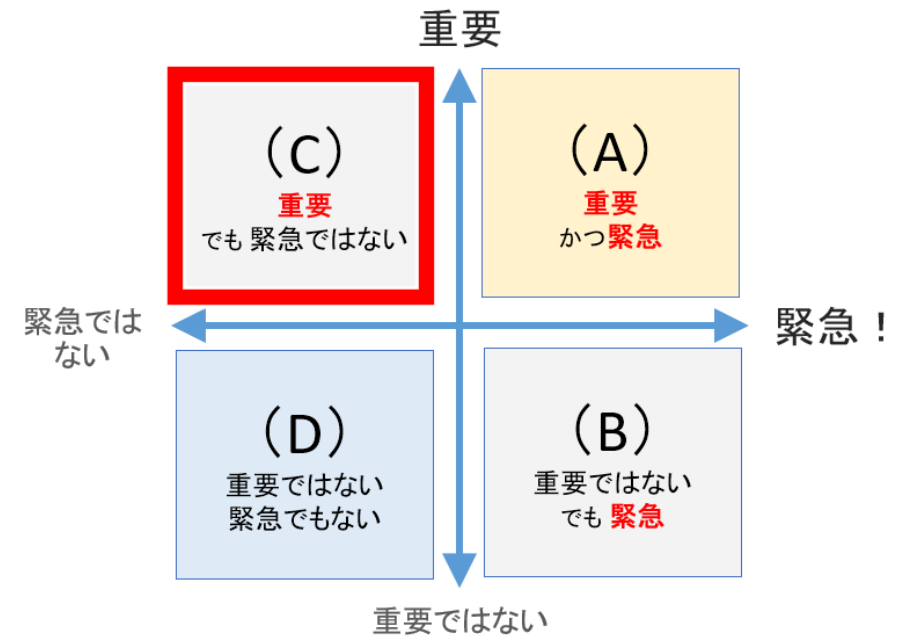
<最終報告>

- 事業名／【ひなんじょ たいけん】ゲーム
- 参加者／16名
- 状況／活気あって参加者は積極的に取り組んでいた。



事業の成果04 今後の展望

2回のセミナーと七つ橋渡りを運営してわかったことは「参加者は、身近なものには興味を示すが、SDGsのような大事なことだけど緊急性のないものには集まらない」ということです。しかしながら町連も含め私たちの存在意義は、**「重要だけど緊急ではない」ことをやり続け、社会課題を一つずつ解決していくことにあると思っています。**



当初の狙いとは違ったものになったが、ヒントを得た。次年度は、テーマを身近な課題に求め
(図C) 人々の興味関心を惹く切り口で事業を立案、実施していく予定。



ご清聴
ありがとう
ございました。

